

《文しょうもんだい5》

文しょうもんだいを やって みよう。こたえを 文しょうの 中から みつけよう。

【れいだい】

つぎの 文しょうを よんで、といに こたえよう。

あしたは さんすうの テストです。わたしは ひきざんが にがてなので、おとうさんに おしえて もらう ことに しました。わたしが おとうさんに おしえて もらって いると、おとうが ちかづいて きました。□ ぼくも やりたいと いいだしました。おとうさんは おとうとに、一から 十の すう字を おしえて あげました。

(1) □に入る ことばを アから ウから えらぼう。

ア ですから イ そして ウ もしも

(2) おとうさんは おとうとに なにを おしえて あげましたか。□に入る ことばを かこう。

から

の

【こたえ】

(1) イ

(2) 一から 十の すう字

【かいせつ】

(1) おとうとが ちかづいて きて、「ぼくも やりたい」と いった いるので、「そして」が 入ります。

(2) は 文しょうの つぎの ばしよに かかれて います。

あしたは さんすうの テストです。わたしは ひきざんが にがてなので、おとうさんに おしえて もらう ことに しました。わたしが おとうさんに おしえて もらって いると、おとうとが ちかづいて きました。そして ぼくも やりたいと いいだしました。おとうさんは おとうとに、一から 十の すう字を おしえて あげました。

つぎの 文^{ぶん}しょうを よんで、といに こたえよう。

すずしい あきの よるです。子^こぐまの くうたは、とぼとぼと 山^{やま}みちを あるいて いました。三日^{みっか}まえ、くうたは みちに まよって おかあさんと はぐれて しまいました。くうたは とつぜん ひとりぼっちに なって しまいました。空^{そら}を 見^みあげると、ぽっかりと きいろい まんまるの 月^{つき}が ひかっています。

「おかあさん。」

くうたは、さみしく なって お月さまに よびかけました。すると へんじが かえって きたのです。

(1) おはなしの きせつは いつですか。文しょうの 中^{なか}から みつけて かこう。

(2) くうたは どうして ひとりぼっちに なって しまったのですか。□に 入^{はい}る ことばをかこう。

と

しまったから

(3) 空に ひかっていた 月は、どんな いろで、どんな かたちを して いましたか。文しょうの 中から みつけて かこう。

いろ

かたち

つぎの 文^{ぶん}しょうを よんで、といに こたえよう。

たかしは のりおと グラウンドで キャッチボールを して あそんで います。そこへ ゆうたが やって きました。たかしと のりおは、キャッチボールを して いた 手^てを とめて いました。

「ゆうたも いっしょに あそぼうよ。」

ゆうたは、

「いやだ。」

と いった、いえへ かえって しまいました。

(1) おはなしの 中^{なか}には、なん^{なん}人の 人^{ひと}が でて きましたか。か^かずを かこう。

人

(2) たかしと のりおは なにを して あそんで いましたか。文しょうの 中から みつけて かこう。

(3) □に 入^{はい}る ことばを アから ウから えらぼう。

- ア だから
- イ けれども
- ウ さて

(4) ゆうたは どこへ かえって きましたか。

つぎの 文^{ぶん}しょうを よんで、といに こたえよう。

ふゆの さむい よるです。うさぎの ^こぴん子は、とぼとぼと ^{やま}山みちを あるいて いました。五日^{いつか}まえ、^こぴん子は みちに まよって おにいさんと はぐれて しまいました。ぴん子は とつぜん ^{そら}ひとりぼっちに なったのです。空^{そら}を見^みあげると、ぽっかりと きいろい まんまるの ^{つき}月が ひかっています。

「おにいさん。」

ぴん子は、さみしく なって お月さまに よびかけました。すると へんじが かえってきたのです。

(1) ^こぴん子は どこを あるいて いますか。文^{ぶん}しょうの ^{なか}中から みつけて かこう。

(2) ^こぴん子は どうして ^{ひとりぼっち}ひとりぼっちに なって しまったのですか。□に ^{はい}入る ことばをかこう。

と

しまったから

(3) ^こぴん子は いつから ^{ひとりぼっち}ひとりぼっちに なって しまいましたか。□に ^{はい}入る ことばをかこう。

まえ

つぎの 文^{ぶん}しょうを よんで、といに こたえよう。

みな子^こは ゆう子と 小学^{しょうがっこう}校の 校^{がっこう}ていで なわとびを して あそんで います。そこへ かずやが やって きました。

みな子と ゆう子は、なわとびを しながらいいました。

「かずやも いっしょに あそぼうよ。」
けれども かずやは、

「いやだ。」
と いて、いえへ かえって しまいました。

(1) おはなしの 中^{なか}に でて きた 三^{さんにん}人の 名^なまえを かこう。

| | | |
|--|--|--|
| | | |
|--|--|--|

(2) みな子と ゆう子は なにを して あそんで いましたか。文しょうの 中から みつけて かこう。

(3) みな子と ゆう子は どこで あそんで いましたか。□に 入^{はい}る ことばを かこう。

小学校の



つぎの 文^{ぶん}しょうを よんで、といに こたえよう。

きたの くにに 王^{おう}さまが いました。王^{おう}さまは とても お金^{かね}もちなので、ほしい ものは すべて 手^てに 入^{はい}りました。

王^{おう}さまは おしろの 中^{なか}に いつも ひとりぼっちで いるので、ちっとも たのしく ありませんでした。

ある日^ひ、王^{おう}さまは つぶやきました。

「ともだちが ほしいなあ。」

ほかの ものは いくらでも 手^てに 入^{はい}るのですが、ともだちだけは お金^{かね}で かう ことが できません。

(1) 王^{おう}さまが いるのは どのの くにですか。 文^{ぶん}しょうの 中^{なか}から みつけて かこう。

の くに

(2) に 入^{はい}る ことばを、アから ウから えらぼう。

- ア たとえば
- イ なぜなら
- ウ しかし

(3) お金^{かね}で かう ことが できない ものは なんですか。文^{ぶん}しょうの 中^{なか}から みつけて かこう。



つぎの 文^{ぶん}しょうを よんで、といに こたえよう。

みなみの しまに 女王^{じよわう}さまが いました。女王さまは お金^{かね}を とても たくさん もっているの、ほしい ものは すべて 手^てに 入^{はい}りました。

しかし、女王さまは いつも おしろの 中^{なか}にひとりぼっちで いるので、ちっとも たのしくありませんでした。

ある日、女王さまは つぶやきました。

「ともだちが ほしいわ。」

ほかのものは いくらでも 手に 入るのですが、ともだちだけは お金で かう ことが できません。

(1) 女王さまは どんな 人ですか。□に 入ることばを かこう。

女王さまは

の しまに

すんで いて、

を

たくさん もって いる人

(2) 女王さまは、 どうして たのしく なかったのですか。□に 入る ことばを かこう。

いつも おしろの 中に

で いるから

(3) 女王さまが ほしかった ものは 为什么呢。文しょうの 中から みつけて かこう。